

## 式 辞

校庭の桜も満開の時を迎え、暖かい陽ざしに春を感じられるこの佳き日に、

大阪府立泉陽高等学校、第74回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びであります。

ご来賓の皆様には、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今入学を許可しました360名の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

本校は、明治三十三年に創立された堺市立堺高等女学校を前身に持ち、大阪府立堺女学校をへて、昭和二十三年に男女共学の大阪府立泉陽高等学校として新たな歴史を踏み出しました。そして、東京オリンピック・パラリンピックが開催される、2020年に創立120周年を迎えます。

また、本校は社会に貢献できる志の高いリーダーの育成をすべく、気品に溢れる情操豊かな生徒を育て、

その進路希望を実現する学校です。

そのために、「知を究める」「将来を描く」「心を鍛える」「人と繋がる」という4つの教育方針をかけた、生徒と

教職員が一体となって様々な取り組みを実践しています。

さらに、人と人とのつながりを広め、高校生活をより

充実させるように、たくさん部の活動が活躍しています。

それらの中から、どれを選び、どのように取り組むかは、皆さんの主体性に委ねられています。そのため、それぞれが効果的に機能するかどうかは、皆さんの意欲に掛かっているのです。その意欲とは、積極的に「チャレンジすること」です。

「チャレンジ」とは、今までやったことのないこと、できないことに挑むことです。ですから、失敗する可能性が高くなります。そこで、失敗したときのカッコ悪さや恥ずかしさを避けたいという気持ちが働きます。また、現在の自分の能力を考え、できるかできないかを事前に予測し、失敗する可能性があれば、ロスの少ない、楽な道を選ぼうとします。そして、「チャレンジ」は、避けられてしまいます。

しかし、それでは、大きな成長は望めません。

発明家のエジソンは、次のように言っています。

「私は、失敗をしたことがない。ただ、1万通りのうまくいかない方法を見つけたただけだ。」

つまり、「失敗」を悲観的に捉えてはいないのです。

逆に、誇りにしているといつてもいいかもしれません。

なぜなら、「失敗」によって何かを失うのではなく、**こうすればうまくいかない**ということが分かるからです。これは、**明らかに** 成功へ向けての発見です。

そして、本当の「失敗」は、「チャレンジ」すること、失敗することを避け、楽な道を選択し続けることなのです。

泉陽ではこの4月1日に、生徒たちによるスローガンを制定しました。「進取果敢 挫折を知りて 己持つ」です。

「自分の意志で積極的に取り組み、大きな決断力を持って、失敗を恐れずに取り組むこと。失敗を恐れずに取り組んだ結果として、挫折を経験することもあるだろう。その挫折を乗り越える過程で、自分というものを発見でき、自信を持つことに繋がる。」という意味です。

新入生の皆さん、「夢」を叶え、人生を豊かにするため  
に、そして、若い今だからこそ、楽な道を選ばず、自分にと  
つて辛くて、しんどい道を選び、新しいことに「チャレンジ」  
してください。そして、うまくいかなくても、さらに学び、  
自分を信じて、「チャレンジ」し続けてください。  
期待しています。

最後になりましたが、ご列席いただいている保護者の  
皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。  
心より お祝い申し上げます。

家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点で、  
共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育  
方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力と  
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴ら  
しいものになりますことを祈念して、式辞といたします。

平成31年4月5日

大阪府立泉陽高等学校長 武田 温代